



はちろうがた

2015年6月定例会 第124号

議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

☎ 018-875-5810



はちパルオープニングイベント



- ◆ 2ページ …… 6月定例会／請願・陳情
- ◆ 3～11ページ …… 一般質問
- ◆ 12ページ …… 各常任委員会の審議
- ◆ 13ページ …… 広域組合議会報告／研修会報告
- ◆ 14ページ …… 定例会提出議案／議会のうごき

6月定例会

6月定例会は、6月9日（火）から12日（金）までの4日間にわたり開かれました。一般質問は9名、審議した議案は条例関係1議案、補正予算関係3議案、地域防災計画の修正1議案、町道路線の認定1議案、人事案件1議案、専決処分承認2件、報告5件でいずれも原案どおり可決されました。

平成27年度一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出に**34,132千円**を追加し、
総額は2,911,702千円となります。

《主なもの》

歳入	臨時福祉給付金給付事業費補助金	8,400千円
	臨時福祉給付金給付事務費補助金	2,735千円
	地域自殺対策緊急強化事業費補助金	502千円
	農業経営発展加速化支援事業費補助金	1,545千円
	自治総合センターコミュニティ助成金	3,399千円
歳出	町有緑地樹木剪定等業務委託料（上昼根公園・鳥屋崎団地）	996千円
	自治総合センターコミュニティ助成金 （13町内会・青年者異業種交流会メビウス）	3,456千円
	長寿社会づくりソフト事業費助成金 （プロジェクト8が開催するイベント）	1,000千円
	老人福祉センターボイラー室配管修繕工事 （ボイラー室内の配管からの水漏れ修理）	1,248千円
	子育て世帯臨時特例給付金（消費税率引き上げに伴うもの）	1,710千円
	経営転換協力金（農地中間管理機構への農地貸付対象者増によるもの）	800千円
	農業経営発展加速化支援事業費補助金 （意欲ある経営体への機械等の導入を支援するもの）	1,802千円
	戸村地区ため池等整備事業費補助金 （戸村地区のため池整備事業の調査計画分）	878千円
	町道、下水路整備工事 （はちパル西側玄関口敷地と大道駐車場B&Gプール側の整備）	6,416千円
	中羽立公園遊具設置・補修工事（ブランコ・滑り台・ロープウェイ）	1,211千円

八郎潟町都市公園条例の一部改正

道路法第39条第2項に基づき条例で定めている占用料について、道路法施行令の一部改正に伴い、これを引き下げるものです。

八郎潟町教育委員会委員

前任者の任期満了によるもので、後任には全会一致で14区佐藤直俊氏が同意されました。

■ 請願・陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	本会議結果	付託委員会
11	平成27年5月20日	陳情	秋田市 潟上市	秋田県教職員組合 執行委員長 山縣 稔 男鹿南秋支部 支部長 石井 孝雄	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情書	教育民生	採択

一般質問

地域おこし協力隊の受け入れを



菊地 文人
議員

問 協力隊は人口減少などに悩む地方自治体が都市住民等を受け入れ委嘱。

農林漁業の応援、住民の生活支援などの「地域協力活動」に従事してもらい、その地域への定住・定着を図りながら地域の充実・強化を目指す取り組みである。希望者がいれば受け入れ可能か。



地域おこしに活用している旧馬場目小学校

町長 特別交付税措置に係る地域要件を満たしているので可能。

問 国からの支援も含めての活動費・期間は。また任期終了後の再契約は可能か。

町長 報酬等上限200万円・活動費上限200万円で隊員1名につき400万円が上限で、概ね1年以上3年以下が期間となっていて再契約は出来るが、国の財政支援はなくなる。

問 導入のメリット・デメリットは。

町長 行政が出来なかった柔軟な地域おこし策が期待でき、共同体制の構築と移住を受け入れる機運が高まること。自由な制度の為、責任の所在が分からなく、成果が見えにくいので地域に理解されにくい場合がある。

町職員の養成と研修について

問 行政運営にはこれまで以上に的確な現状分析、将来予測に基づいた政策立案や行政サービスの提供、地域課題への対処が

求められる。中長期的な視野に立ち、行政の総合化を図りつつ、地域の活性化を目指して町の将来ビジョンを描くことができる能力や幅広い視野と判断力を持ち、課題に積極的に挑戦する意欲を持った職員を育成を目指すための研修が必要では。

町長 職員が各種研修に積極的に参加し勉強する事により、個々の意識・資質の向上につながると考える。H27年度は、新規採用別研修5名、3年目研修4名、主任級研修2名、監督者研修6名、能力開発者研修3名、千葉県市町村アカデミーへ6名、市町村海外研修1名の計27名分予算処置をしている。

コミュニティスクール(地域運営学校)について

問 平成22年9月定例会で一般質問を行っているが、最近メディアに掲載されたので再度質問。政府の教育再生実行会議から全国すべての公立小中学校を「コミュニティス

クール」(以下CS)にと提言があった。CSは保護者や地域住民代表が「学校運営協議会」に参加し、学校の運営方針を承認したり、教職員人事に関して教育委員会に意見を述べたりできる。学校を中心に地域住民が繋がりが、まちづくりの拠点となる役割が期待されているが。

教育長 現在、地域の方々のご支援を頂きながら学校運営を進めている。「学校運営協議会」という組織はないが、学校地域本部事業・学校評議員会・学校関係者評価の実施など内容的にはかなりCS化しており、特別申請しなくても良いと考える。特に教職員人事権となると多くの課題が生まれ、本町のように小・中一校ずつの場合、単独での人事作業が出来ないので他町村と提携しなければならなくなる場合もあると考える。

一 般 質 問

文化財の整備で観光人口の増加を図る

伊藤 敦朗
議員

問 当町には、歴史的な文化遺産と言える、中世に建立された石碑（板碑）が他地域と比べ多数存在いたします。

現在、風化等に依り傷みが進んで居り、早い段階で整備していかねばならないと考えます。町でも重要性は認識され、平成13年に「八郎潟の石碑」を発刊し、23年には小池の石碑群に上屋の計画をしていたようですが現在まだありません。

そこで、石碑群に上屋を掛ける、放置された石碑を集積する等の処置が必要で、町の考え方を示して下さい。

町長 昨年、教育委員会から諮問を受けて、町の文化財審議委員会から、風化、毀損防止措置及び対策に対する答申があり、その内容は、雨や風、光を防ぎ、温湿度の変動を和らげるために覆屋を掛ける。基礎（土台）につ

いては、現在ひび割れが見えるコンクリートを撤去し、新たに打設を行う等となっている。教育委員会でも、答申内容を最大限尊重して、対策を講じていくべきとしており、今後どのような方法がよいのかなど、財源的な面も含め今年度中に結論を出したいと考えている。

問 浦城趾については、現在NPO法人に依り広範囲に整備が進められています。土中に手を掛けることが出来ません。

掘削等の工事が出来ないという事です。基本は現状保存ということですが、調査を行うことが出来る場合は今後の展開に大きく影響すると思えます。また、県内外から多数のお客様が来ています。昨年の9〜10月の国民文化祭の折には1,730名のお客様でした。通常でも年間を通じて、4,000名以上のお客様がいらっしゃる様です。その中の声で、道案内の看板が少なく分かりづらいという声も聞かれます。その点においても町としての対応ができるかどうか

かお聞かせ下さい。

町長 浦城趾の史跡調査については、埋蔵文化財の地域に建設、土木工事等の計画がない時点で、当該地の試掘・発掘調査することはなく、例えば四阿（あずまや）などの

問 小池御前柳神社については浦城との繋がりも強く、進入路等も不明確で整備が必要と考えますが、当地は個人所有ではあるが、町での整備助成は可能なのでしょうか。

町長 御前柳神社については、個人所有となっていること、また、町の文

建設計画がある場合は工事に入る60日前までに計画書をそえて町に届けて、町でその計画の内容を審査した上で町の意見を審査して県に上申する。県では工事に対し趾跡に影響のないこと、職員の立

合いを求め、事前に発掘調査をする等の診断結果を通知し、その指示に依り工事を進めることとなる。看板については、NPO法人の考え方を十分に伝えてもらい、後日対応していく。

化財指定となっており、町での整備、助成は難しい。



小池の板碑群



一般質問

県道秋田・八郎潟線 (アクセス道路) 延伸・早期実現



伊藤 秋雄
議員



県道 道村・大川線より駅方向をのぞむ

問 県では2012年市町村未だづくり事業に50億円を計上、25市町村を対象に、計画した1市町村に2億円を補助する事業を掲げた。本町でもプロジェクトチームを立ち上げ未だづくり事業に取り組み、事業期間25〜28年度の4カ年で駅前を中

心とした情報拠点、えきま交流館「はちパル」が完成し人の流れも変わりつつあると思う。県道秋田・八郎潟線(アクセス道路)延伸の早期実現を強く要望する。今後、県側、JR側と(平面交差)等々どのように交渉していくか。

町長 アクセス道路の延伸は重要な路線なので事前協議に入る前、27年1月JR秋田支社、県道路課、町の三者で平面交差の必要性を説明し協議を開始している。その後JRから平面交差の条件を明示され4月にJR秋田支社、県、町で協議している。実現に向けてまだ協議は続くと思うが必要性を強く要望していく。三者協議には町から建設課、総務課、副町長が出席。切替ポイントはないと思うが確認する。

問 周辺市町村・関係市町村

と本町が中心となり期成同盟会の立ち上げは考えているか。26年6月の定例会の町長の答弁では国會議員や地元県議などに働きかけ要請していると答えているがその後話し合いは。

移住・定住対策

町長 今後新たなプロジェクトチームを立ち上げることは困難である。JR、県、町の三者協議を進めたい。また、国會議員や県議などは当然強調してやっているが順序があるので理解してもらいたい。

問 今年度、政府は予算案に地方創生総合戦略事業として1兆円を計上。人口減少を食い止め、地域を活性化、移住・定住向けの相談窓口を新設、雇用を創出する事業を掲げている。県でも2月県議会でも地方創生事業に18億円を計上。うち移住総合推進事業に2億8,978万円を盛り込み事業を展開しようとしている。本町では総合戦略事業の

成案・策定はいつ議会に示されるのか。有識者プロジェクトチームを構成して策定するのか。

町長 28年〜37年まで10年間の総合計画を策定し、12月定例会前に素案を議員の方々に説明し、修正して来年1月中旬に策定する。プロジェクトチームは5月末に町職員で庁舎内に立ち上げ、10人位の町民で委員会を設置して意見や要望を盛り込んでいく。

問 空き家バンク登録条例を制定し空き家活用し、定住住宅建設促進事業を展開する考えはないか。空き家の確認はしているか。また「買い物難民」はいるか。

町長 空き家バンク制度導入は必要である。所有者の協力、定住者への支援体制、職員の人員体制など検討していきたい。空き家は目視で206軒使用できるものは目視で47軒以下。「買い物難民」は20数名。

湖東厚生病院の空き地について

町長 町内で出会いの場を確保する会を主催するグループに対して助成している。その成果は出ていないがいろいろな方向から情報を得ながら人口増加を図りたい。移住者への支援はこれから考えていく。

問 旧湖東総合病院の跡地も整地され、残りが一万二千㎡あるが、3町1村で厚生連と話し合い跡地を利用できないか。

町長 所有者はあくまで厚生連なので3町1村で話し合うことはできない。厚生連から正式な文書で依頼があれば可能である。

町長 活動費、サポート体制、居住体制など生活条件の整備を充分にしたうえで導入を図る。

一般質問

JAあきた湖東の加工施設と町との産業振興について

加藤千代美
議員

問 我が町でも、遅きに失した感があるが、JAあきた湖東が中心となって旧八郎潟町農協店舗跡に加工施設が出来ると同っていい。しかも、聞くところによれば加工施設と言っても漬け物の加工施設であるとの事ですが、どうでしょうか。また、JAあきた湖東がこの加工施設を建設するに当たって構成市町村の産業課等の意見徴収等があったのでしょうか。仮に、この漬け物加工施設で加工される生産物が何に重点を置いて漬け物加工をするのか、その作物等の状況を把握しているのか。作物状況が把握されているとしたならば、今後どのような（町として）生産体制を構築していくのかお伺い致します。

次に、生産体制が確立された後にどんな方法で営農指導するのでしょうか。私が考えるに第一義的には、JAあきた湖東の営農指導員が主体となって営農指導

を図っていくものと思うが、それだけでは足りないと思うが、どうでしょうか。私が把握しているところでは、町・NPO法人が主体となつて、営農指導を行っているところもあります。また、販売に至ってはふるさと会、町の名士などを頼って販売活動、さらには空き家対策などでタータン、Uタータンなどを積極的にやっている所があります。わが八郎潟町では、町独自でこのような政策を行う指針があるのでしょうか。

町長 JAあきた湖東に確認した所、加工品は漬け物であり品名は、キムチ、あさづけ、味噌漬等、生産体制については、個別に品種の作付をお願いしておりますが、JA座談会等でも説明しており、JA買い取り方式により原料の確保にむけた計画をしておることでありました。主要青果物の講習会は、毎年実施していることでもあります。

また、先月八日には漬け物加工施設の稼働計画並びに原料調達に向けた説明会並びに野菜栽培講習会を実施しており、個別で対応を

商工会の振興について

行うとのことでありました。

問 最近町の中の老夫婦からこんな形で声をかけられました。「私も若いときは自転車でジャスコ、ファミリーまで買い物に出かけた所、買い物した後で自転車に荷物を積んで自宅に帰るのが非常に苦痛になってきた、一方においては年寄りの荷物を積んだ自転車運転は非常に危険で、なるべくなら歩いていきたい所なんだが、店まで遠いのでついついハンドルを握ってしまう。なんとかならないものか」と言う話であった。そこで、私も若干の人から話を聞いたところ、町の中を販売者が歩いているという話も聞きましたが、それが徹底されていないという事実が浮かびあがってきました。

そこでこのような問題を解決するためには、社会福祉協議会が町では老夫婦、独居老人がどのくらいいるのか把握し、商工会と一体となって販売戦略に努める

ならば商工会の振興になるのではと考えるがどうでしょうか。

問 今、町の現状を見ると町の買い物客の殆どが、ジャスコ、アマノ、ビッグ等に集中し町での消費活動が行われていないという現状があります。

しかし、この現状は何も我が町だけでなく、全国至る所で起こっているのであるが、最近に至ってはある町では、町の中心地に商工会が中心となり総合的なマーケットを設立しにぎわいを取り戻した地域もあるようです。いわゆるコンパクトシティであります。その成功例を見ると、農家も一緒になって地域でとれた物をその日のうちに集荷し販売する、販売して得たお金で自分達で作り上げた総合マーケットで買い物をするという相乗効果が生まれ町が再生されたというお話もありました。さらに成功するためには、定期的にイベントを開き、何月何日にはそこに行くこと必ずイベント（催し物）があるとついでとを周知し、消費者に習慣付けたことも成功例につながったとあります。我が町

でも駅前開発によりはちバブルが出来たことにより、一日も早く町民が一体となるような総合マーケットの設立をいつやるのか。

町長 湖東3町商工会の重点事項のひとつが地域コミュニティを支える事業の推進であります。

元気な地域づくりの貢献でありますので商工会員の普段からの声かけ等、地域になくはならないものと考えているので、今後、どのような事業を求められているのか把握しながら検討してまいりたいと思います。

高齢者の一人暮らしの福祉サービスとして、町ではふれあい安心電話の設置運営、男性の料理教室、介護予防教室の開催を社会福祉協議会に委託、民生児童委員の見守り活動、緊急医療キットの配布等を実施している。社会福祉協議会事業として週一日のまごころ弁当の提供、地域福祉協力員の見守り活動の実施、マーケットの設立については五月一日に駅前交流館が開館したのでこの施設を中心に軽トラ市、フリーマーケット等を計画しております。

一般質問

少子化対策の一環として 母子留学制度の創設を



北嶋 賢子
議員

問 某友人に、医療費も中学校卒業まで無料。学校給食費も無料。孫を呼んで、八郎潟町の学校に通わせたい。と言われたのが発想のきっかけでした。駅前に、図書館も出ました。町は小さいけれど病院、鉄道、国道、インターもあります。秋田県に来たら勉強も出来るし、子育ての条件は揃っていると思います。東京、大阪、沖縄等と呼びかけをし、母子寮を整えて、こどもだけよりも、おかあさんと一緒の方が送るほうも、受けるほうも安心ですし、児童減の対策にもなると思います。新しい風を入れる一つの方法とも思いますが。

町長 多くの仮題が発生すると見こまれ、町の現状では無理と考える。

国民健康保険の 都道府県化につ いて

問 国民健康保険の都道府県化に対しては、国保の値上げにつながるものとして反対です。

① 都道府県化になると、国保への一般会計からの繰り入れがなくなるのか。

② 都道府県化に対しての町の考え方は。

③ 町にどれくらいの手伝いが入るのか。

④ 全額を国保税の軽減に充てる事が出来ないか。

町長 平成30年度から、都道府県が財政運営の責任主体となる。

① 具体化については、国と地方との協議が今後進められる。なんらかの形で、繰り入れがあるかも知れない。

② 町の考え方は、本町の被保険者数は、平成27年3月末で1544人、60才〜75才まで717人、46.43%と、高齢者のしめる割合が多く、進行するのに伴い、医療費の増加もみこまれる。都道府県化に移行する事が望ま

カモシカの食害 対策について

しいかも知れない。

① 国と地方の協議での国保基盤強化協議会、国と地方が協議する事になっているので答えようが無い。

② 医療給付費の伸びを鑑みながら、軽減出来るか、検討して参りたい。

問 浦大町は、豊かな自然と数多くの動植物と同居しています。かつて日光製薬の社長御夫婦が、カモシカの親子と遭遇し、大いに感動した事は、集落の中でも知られています。特別天然記念物のカモシカは、何でも食べます。薬草にもなる桔梗は大好物ですが、じゃがいもは食べません。ナスは若芽の部分を食べ、実に歯形をつけます。比較的食べないのが、白菜と人参です。どれも寒くなり、食物が乏しくなるとやってくる。普段は、おとなしいカモシカも、こちらで怒ると、ヒューと威嚇します。秋田市内の山里の畑は、ネットで囲わ



対策が悩ましい日本カモシカの食害

れています。対策として妙案はないものでしょうか。

町長 秋田市の行っている補助事業は、特別天然記念物日本カモシカ食害対策事業で防護網と嫌いな臭いが出る、臭い袋の支給を実施している。本町は、日本カモシカの保護地域の指定がされていませんので助成事業の申

請は出来ません。今後、町広報で要望等を確認し事業の実施について検討する。

一般質問

学校教育法改正による、小中一貫校の 制度化について八郎瀧町の小中教育はどのように進むか



金 一義
議員

問 政府は、3月17日小学校と中学校の義務教育9年間のカリキュラムを弾力的に運用できる小中一貫校を制度化すると学校教育法改正を閣議決定した。一貫校の名称は「義務教育学校」とし、学校教育法第一条で定める「学校」に位置付けしました。今国会で成立後2016年4月から施行するとあります。文科省が制度化を進める「小中一貫校教育」の大きな問題として以下のような事柄が指摘されております。

近年高度情報化や少子化、また、子どもの身心の発育が加速する中、全国的に中学校1年生で学習意欲が低下することやいじめなどの問題が増加する現象、いわゆる「中一ギャップ」が調査研究で指摘されています。そこには、「子どもの身の発達と現行の学校制度がうまくかみ合っていない」、「小学校から中学校へ子どもの成長は連続しているのに、教える側の意識はうまくかみ合っていない」など6・3制という現行の義務教育の区分が子どもの成長に合わなくなってきたことが挙げられます。

しかし本町の教育長の答弁では一貫して小中一貫校教育には反対の立場です。また、小学校までは、不登校の児童はおりませんが、現在八郎瀧中学校でも「中一ギャップ」とみられる子どもが数名見られます。さらには、県人口が2040年は70万人とさらに本町でも空き家が年々増え、この少子化の進む我が町で教育長は小学校校舎の増築も検討しており、中学校校舎の利用を積極的に考えるべきであります。

教育長 私は、今まで小中一貫教育を否定した答弁はしておりません。以前から申しあげている通り町の子も達には幼稚園から、中学校まで指導する先生方が同じ思いを持って園児、児童、生徒を育ててほしいとお願いしてきております。私が教育長を拝命した平成21年度から幼・保・小の交流会を計画、そして22年度からは小・中連携教育、つまり小・中学校がそれぞれ別の学校ではあるが教育目標やカリキュラムの共通部分について協働する取り組み、小・中学校がそれぞれ課題のために連携して行う教育、乗り入れ授業などによる児童生徒、教員の交流や合同の活動を通して、小学校から中学校への円滑な接続を目指す教育を計画的に進めてきております。この取り組みは、小中一貫型小学校・中学校の運用に近いもので、本町教育の基本としているものです。本町では今、施設隣接型の条件を活かした連携教育を実践しております。推進計画を作成し、計画に基づいて特に学び部会では、中学校教員による専門性を活かした、乗り入れ授業を高学年で実施するなど一貫教育校等でねらっている中一ギャップの解消や学力向上につなげております。小中併設型の学校になりま

すが、小中学校がそれぞれの特色を生かしながら連携した学校運営を進めて行くことを描いているものです。



八郎瀧中学校



八郎瀧小学校

一般質問

町の美点発見で 付加価値のある情報発信を



畠山 金美
議員

問 私は、八郎潟町はまちづくりで成功している町である。と言い切れることが心からの願いである。行政にとって売り込み宣伝という情報発信は苦手な分野ではないか。ここに心血をそそいでいるかいないかが重要である。

もっとも大切なその情報手段の一つに「ポキヤブラリー」があげられる。町が元気なところは元気になる言葉しか言っていないし、そうした言葉しか発信していない。元気のない町は元気のなくない言葉しか使っていない。だから情報が発信できない。

私たちは日頃この町が発展するためにどんな言葉を吐いているかよく考える必要がある。町の特徴や、人に語れる言葉を考え、職員同士でさらに町の美点、人の美点に磨きをかける、ということ

をやっているか。それをレポートに書き出し提出させるくらいの事をしなければならない。これは職員全員の叡智を集める作業だと思う。

付加価値を見つけ、考え、無ければ創るという考えの職員を育てるのも町長の責務と思うし、町民がどれほど喜ぶことか。また、若手職員も一同に会する会議は年何回開かれていくか。

・町長の理想とする職員会議とはどのような会議か。

町長 職員は、町の良い点でこれから生かしていく点、悪い点でこれから改善していく点を考え、この町の良さをPRできるだけの知識とポキヤブラを持ち合わせていると思う。常に問題意識を持ち、何事にもチャレンジする職員を育てたいと思う。口先だけの言葉でなく、心のこもった言葉が言える職員であってほしいと願っている。

いろいろな会議があるが、若手職員が一同に会する会議はない。町三役

と幹部11人で構成する行政運営推進会議があり、私の考えを示し、情報を共有しながら行政運営をしている。各課でも話し合いが行われているので現状の体制で行きたい。

はちパルに人材バンクコーナー設置を

問 はちパルも完成し、人々を繋ぎ合わせる専門職であるコーディネートという新戦力も加わり、町が活力を取り戻す土俵ができたことは大変喜ばしい。今こそ町民の潜在的な能力を引き出し、能力を開花させるために人材バンクをつくりあげ、知識や技能の共有を促進しやすい環境作りに着手するべきと思うが、教育長の考えは。

ちなみに、20年続いた路上ミュージカルでは、毎年新しい曲を作ってくれたすばらしい能力を持った方がいらっしやいます。この方にニャンパチの公認キャラクターソングを町として依頼するのはどうか。はちパルソン

グもあってもいいかと思う。また、今後新たに人材発掘を目的にした事業を考えているか。

さらに、新たに人材を育成していく事を目的にした事業を考えているか。

教育長 小、中のふるさと教育の実践において、地域人材を活用した取り

組みはたくさんおこなっている。人づてに講師も派遣できているのでバンクは考えていない。ニャンパチキャラクターソングやはちパルソングは総務課と検討していく。新たな人材発掘、育成の事業は今のところ考えていない。



人材交流の拠点づくりへ

一般質問

八郎瀉町第6次基本構想の策定について



柳田 裕平 議員



八郎瀉町がゆけ拓

八郎瀉町がゆけ拓
拓けゆく我が八郎瀉町に
実施計画を財政計画
5年スパンの前期基
本計画・後期基本計
画、向こう3年間の
実施計画を財政計画

問 平成27年度に策定する第6次八郎瀉町基本構想策定については、町民の関心を高めるためにも町民に周知する必要があると考え質問をいたしました。

られるように実施してもらいたい。
③ 素案策定について検討する職員は、経験・若さ・女性のバランス感も必要ではないか。
④ 基本構想審議会について
⑤ 町議会との連携について
庁舎内での素案ができた時点で、町議会との意見交換をはかるべきではないか。
⑥ 第6次基本構想と過疎自立促進計画との関連はどのように考えているのか。

は「第6次八郎瀉町総合計画」として策定いたします。町民の意向が広く反映されるよう策定途中においても計画の概要などを随時お知らせしていく。今後10年間の基本構想の策定、5年スパンの前期基本計画・後期基本計画、向こう3年間の実施計画を財政計画

と合わせて、より実行性の高い施策を盛り込んだ計画書を策定する。
② 6月末を目途にアンケート調査を実施しますが、町内会のご協力をいただきながらより多くの町民から回答が得られるようにしたいと考えています。
③ 5月末に素案策定のために、庁舎内に町長を本部長に課長級以上（13名）でまちづくり計画策定推進本部と副町長を部長に各課中堅・若手職員（10名）で作業部会を推進本部の下部組織として設置して素案策定いたします。

は議会の議決が必要であり、議員の皆様は原案を2月初めに説明して意見・要望を踏まえたいと、3月定例会に上程したいと考えている。
⑥ 今後5年間の過疎地域自立促進計画を策定するうえで、町の上位計画である総合計画との整合性が必要で、まちづくり計画策定審議会委員（約24名）の中から、過疎地域自立促進計画の委員（約10名）を選任して、策定作業にあたりたいと考えている。

八郎湖岸記念植樹の「桜並木」について

問 町制施行40周年記念で八郎湖岸に植樹された「桜」は、今年も5月の連休前には満開で素晴らしい桜並木になっておりました。大瀉村の「桜・菜の花ロード」のように、本町でも同じ場所に別の花を植えるなど工夫をして将来的には町内外住民からも親しまれる「憩い」になるように計画しては

スポーツ施設の整備計画について

問 本町のスポーツ施設（町民体育館・弁球場・オリンピック記念館・ゲートボール場・B&G海洋センター等）の殆どが老朽化してきており、町当局の対応もその都度の改善補修で凌いでいるのが現在の状況であると感じております。この際「スポーツ施設整備計画」を策定して計画に基づいた対応策を順次講じていくことを考えてはどうか。

教育長 指摘の通り老朽化が進んでおりますが、町当局としても助成事業等を活用しながら順次改修工事を講じております。今後、財政状況を考慮して町の第6次基本構想に盛り込みながら進めていきたいと考えております。

一般質問

寺沼水路が氾濫しない排水対策を考える



石井 清人
議員

問 平成25年9月16日の

台風18号の影響で本町では午後2時台まで100ミリを越えた雨が降りました。このときは寺沼水路が氾濫し清源寺の裏手、12区住家裏側の畑、作業場、13区住家の作業所など広範囲で浸水しました。

そのことから町は26年度当初予算水路等管理費に358万6千円を計上して調査測量委託を実施しております。

さて、27年3月議会の行政報告でその結果について報告を受けました。幹線水路7系統について、ほとんどが豪雨には対処できない結果だと言うことです。施工可能な2系統については八郎潟土地改良区と協議を進めていくとのことであり

ます。寺沼水路は畠山薬局前を通ってきた水が元土橋石材店付近で分水し、ひとつは12区東側を流れます。これが氾濫します。

それで私なりに考えると元土橋石材店付近で分水して12区西側への流量を大きくしてやれば東側水路の負荷が軽減されますからよい方法でないかと考えます。しかしこの水路の末端は3区と11区の区境まで伸びていて約700メートルと距離が長いです。全線を入れ替えると工事費もかさむのではないのでしょうか。

しかし安価で確実に流量を減らす方法は途中から分水するよりないと思います。それで旧山内金次郎さん宅と南秋つくし苑との間にある水路と、千種珠算塾横へ流れる水路を整備していわゆる放水路の機能を持たせられないかと言うことです。

この水路を活用できれば余水は31区の水路に落ちて、その先は田んぼの排水路になります。検討してみはどうでしょうか。提案といえます。

町長 寺沼水路の氾濫軽減のため過去には一部複断面にするなど対策を講じてきたがゲリラ豪雨には対処できない。寺沼水路は住宅が密集し狭いいため施工は困難と思われる。施工可能な2水系の詳細な調査や

事業費算出はこれからになる。31区へ落としてやる方法は効率が良いと思われるが、過去に冠水した経緯もあり水はけの影響も含めて土地改良区などの意見を考慮して取り組む。

中嶋西水路、後沼水路を拡幅していけば水はけは良くなる調査結果が出ている。おおよそ両水路で5千万円づつ。計1億円くらいかかると予想している。町単独でなく補助事業に乗せていく方法を講じていく。

世界の中の日本 園児学童の英語 学習の効果

問 いまから約50年前私が小・中学生の頃は外国人を見ることはありませんでした。

いま社会はグローバル化です。日本の玄関口である成田や羽田、さらには地方空港からも世界中に行くことができるようになりまし

た。またインターネットの普及はわずか10数年で飛躍的に拡大し世界中のどこでもだれでも利用できるようになりまし

た。1700万人もいます。これからの将来を担う八郎潟町の子どもたちが世界で活躍することも想像いたします。一方、日本を訪れる外国人観光客は1300万人。国では将来目標を2000万人まで増やしたい計画です。これからは秋田県にも外国人観光客がどんどん訪れるようになるでしょう。

教育長 小学校5・6年生で週1時間、英語活動サポータを配置して担任とのTT授業を行っています。ALTも6年生には毎時間指導に加わって、1クラスに3人の教師で授業しております。また、ALTは1年生から5年生まで総時数120時間ほど指導におもむいています。全校児童は積極的に楽しく英語活動に励んでおります。幼稚園では1コマ2時間を年2回英語と遊ぼうという時間を設定しております。

現在は文部科学省の方針で小学校5年生、6年生で年間35時間の外国語学習が必修化されています。ところで八郎潟町ではこのほかに小学校全学年と、幼稚園児にも英語に親しむ時間を設けていると聞いております。

目標は外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験するなど、幼・小の英語学習の効果は中学校で英語が出てきても抵抗感がないことです。2020年には5・6年生が必修教科、3・4年生が外国語活動となります。先生の研修も進められているところ

です。世界の人とお話できる世界共通語だという感覚で小さいころから親しむことはたいへんよいことだと思います。

現在行われている小学校幼稚園の英語学習の現状はどのようなものでしょうか。実施にあたっての目標、理念、そしてその効果あるいは課題はどのようなものでしょうか。

各常任委員会 の審議

総務産業 常任委員会

- ◆ 条例関係 1件
- ◆ 補正予算関係の議案 3件
- ◆ 町道路線の認定議案 1件
- ◆ 専決処分の承認 2件

問 調査測量委託料37万8千円。

答 駅前交流館西側入口の道路整備とは。

答 急勾配となつていてため解消する。また車両の乗り入れについて配慮した計画とする。

問 他の町内会では草刈りを実施しているが、羽立公園の草刈りとは。

答 役員の高齢化。草刈り機械の不足のため町に依頼された。これから増えていくと思います。

問 浦大町の水路測量調査とは。

答 神社の下から県道までの水路断面の調査と、町道水路と畑地整備の水路接続の調査をする。

問 町で町内会の TENT を購入する件は。

答 古くなつた町内会の TENT を一括購入する。13町内会から申請があつた。

問 戸村地区の県営ため池等整備事業で五城目、八郎潟で面積の按分とのことだが、また、ほ場整備の進捗は。

答 事業名はため池となつていますが、頭首工の測量設計です。ほ場整備は、両町の農業計画とすりあわせて今年話し合いをして来年度中に作成の話を進めている。

問 農業経営発展加速化支援事業費とは。

答 農業生産法人の水田用リバーシブルプラウ。バーチカルハローの税抜き事業費県1/2、町1/12の補助。

問 大道駐車場の整備について。

答 面積は1/3と半分近くになる。碎石舗装をし、入口はB&G側とする。

教育民生 常任委員会

◆ 一般会計補正予算関係

問 地域資料館の運営については運営委員会に委託している訳ですが、運営等全てを任せるのか。

答 歴史資料館は浦城の歴史を伝える会の資料館以外の目的も含まれていられるので、町当局では運営についてどのように考えているのか。

問 以前説明しているとおり、資料館の展示物など全て運営委員会にお願いしております。運営委員会にはNPOの方々も入っておりますので、地域の方々による手作りの資料館として有効に活用していただければと考えております。

要望 運営委員会に任せきりにならないように、町側としても適切な運営管理に努めていただきたい。

◆ 八郎潟町地域防災計画の修正について

問 水道管・下水道管施設等について、災害が発生する前に耐震性の強化を図る必要があると考えられるが、その計画等はどのようなものか。

答 今後、この防災計画を踏まえ、検討した上で重要性の高いものから実施することになります。

問 本編では、災害時に町民がどこへ避難すればよいかわからないが資料編はできているのか。

答 災害ごとの指定緊急避難場所・指定避難所を定める必要があり、調査を踏まえて今後資料編を策定することになります。

要望 今回の修正に伴い、解り易く住民周知に努めてもらいたい。

自家発電機や上水道施設については、災害時に対応できるように整備していただきたい。

◆ その他

要望 成人式について、全て町側で準備・実施するのではなく、成人者が司会・進行する等成人者側が前面に出るようしてもらいたいと思います。

答 成人式は、その年の成人者側が実行委員になつてもらい行つていますが、成人者の人達がより前面に出るよう検討してみたいと思います。



広域組合議会報告

地区部 東一 行政事務組合 湖行事務組合議会

さらに一般家庭への予防
査察、警戒活動に重点を
置くとのことでした。

また、救急出動は、潟
上市427件、井川町2
23件、八郎潟町298
件、管外17件、合計96
5件でありました。

内、ドクターヘリ要請
件数は26件の出動であり
ます。

搬送人員は合計で86
1名で、昨年より出動件
数で30件、搬送人員で62
名の減少となっております。

去る3月24日午後3時
より、湖東地区消防本部
におきまして平成27年度
第1回議会定例会が開か
れました。
一般会計当初予算の歳
入歳出は、6億2,87
8万9千円であります。
斎場も10年を経過、外壁
補修、空調機器整備に1,
400万円、災害対応消
防ポンプ自動車に3,5
90万円、災害対応救
急車及び救急資器材に3,
790万円などが盛り込
まれており、可決承認さ
れております。

火災については、昨年
7件発生しており、損害
額は3,647万2千円
で、死者1名、負傷者2
名が発生しており、今後

辺務会 湖事議 八掃合 郎清組

さら3月23日、八郎湖
周辺クリーンセンターに
おいて3月定例会が開催
されました。

議案は「平成27年度一
般会計予算について」で

あります。当初予算の歳
入歳出総額は6億3,0
21万8千円であります。

前年と比較して7,4
97万5千円、比率で
13・5パーセントの増で
あります。

今年度の特徴は築後8
年を経過し、経年劣化に
よる修繕費が増加してい
ます。

内容は水冷式ストーカ
ー及び予熱電熱管の摩耗
した機器を定期交換する
ものです。全会一致で可
決いたしました。

この予算案に関して、
組合議会での意見として
「経年劣化による修繕料
の増加が今後とも予想さ
れるが、突然の故障によ
り稼働停止に至ること
のないよう運転機器の
メンテナンスの徹底及び
計画的修繕に心がけるよ
う。」示されておりま

す。
なお、26年度実績とし
て搬入ゴミは1万6,8
00トンで前年比240
トンの減であります。

八郎潟町・ 川生処 井衛生施設組合議会

平成27年3月19日午後
3時30分より八郎潟町役
場3階会議室において、
平成27年第1回八郎潟
町・井川町衛生処理施設
組合議会定例会が開催さ
れました。

処理施設組合一般会計補
正予算（第三号）で歳入
歳出それぞれ40万円減額
するもので、減額する理
由は湖東総合病院の汚泥
の減少にともなうもので
歳入においては使用料で
40万円減額、歳出におい
ては、施設管理費で40万
円を減額し、歳入歳出そ
れぞれ3,814万2千
円とするものである。

議案第二号は、平成27
年度八郎潟町・井川町衛
生処理施設組合一般会計
予算についてであります。
歳入歳出で3,036
万3千円の予算で、歳入
においては、分担金及び
負担金で前年度より11
9万7千円の減、使用料
で41万6千円の減、繰越
金で599万9千円の減
で合計で761万2千円
の減額となっております。
歳出においては、総務費
において24万5千円の増
衛生費において785万
7千円の減となっております。
その主な理由は、
衛生費において機器整備
委託事業が完了したこと
による減であります。

平成27年度 町村議会議長・副議長研修会

日時 平成27年5月26日(火)・27日(水)
場所 東京都中野サンプラザホールにて
【二日目】
○基調講演
「地方自治の母国に負けない我が国の町
村議会」
帝京大学教授 内貴 滋 氏
○シンポジウム
「これからの町村議会を考える」
【二日目】
○講演
「日本の健康のカギは『農山・漁村』が
握る」
関西大学教授 白石 真澄 氏
「地方創生と政治・経済の展望」
読売新聞編集委員 青山 彰久 氏



平成27年 八郎潟町議会6月定例会 提出議案等結果報告

議案番号	審議案件	結果
議案第33号	八郎潟町都市公園条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第34号	平成27年度八郎潟町一般会計補正予算(第1号)について	全員賛成可決
議案第35号	平成27年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成可決
議案第36号	平成27年度八郎潟町上水道特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成可決
議案第37号	八郎潟町地域防災計画の修正について	全員賛成可決
議案第38号	町道路線の認定について	全員賛成可決
承認第1号	八郎潟町町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	全員賛成承認
承認第2号	八郎潟町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	全員賛成承認
議案第39号	八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (佐藤直俊氏)	全員賛成同意
報告第2号	平成26年度八郎潟町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
報告第3号	平成26年度八郎潟町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
報告第4号	平成26年度八郎潟町上水道特別会計予算繰越計算書の報告について	
報告第5号	平成26年度八郎潟町一般会計事故繰越繰越計算書の報告について	
報告第6号	八郎潟町新型インフルエンザ等対策行動計画の策定について	



議会のうごき

4月

- 5日 消防団春の駆付訓練
- 7日 小学校・中学校入学式
- 8日 幼稚園入園式
- 16日 八郎潟町芸術文化協会
芸術文化章表彰式・親睦交流会
- 17日 例月出納検査(監査委員)
- 22日 戦没者追悼式
- 23日 八郎潟町えきま交流館「はちパル」
竣工式・祝賀会
- 24日 県町村議会事務局長・職員合同会議
- 28日 老人クラブ連合会総会
- 29日 NPO法人浦城の歴史を伝える会定期総会

5月

- 1日 体育協会理事・評議員会
- 15日 館岡誠二秋田県文化功労章受章顕彰句碑建立
記念式典・祝賀会
秋田県町村議会議長会 正副会長会議・理事会
- 16日 小学校大運動会
- 18日 例月出納検査(監査委員)
- 21日 湖東3町商工会通常総代会
- 23日 町政座談会
- 25日 秋田県町村等監査委員協議会定期総会・研修会
(監査委員)
- 26日 第40回町村議長・副議長研修会(27日まで)

6月

- 1日 井川町発足60周年記念式典
- 2日 議会運営委員会、広報編集委員会
- 6日 中学校招待野球大会
- 9日 議会定例会(12日まで)
- 17日 例月出納検査(監査委員)
- 18日 広報編集委員会(校正)
- 28日 関東地区八郎潟町ふるさと会総会

◆議会広報編集委員会
委員長 菊地文人
副委員長 北山金美
委員 柳井賢平
近藤裕平

使わなければ失う

これからさらに高齢化が進むと、いつたいどんな時代が待っているのだろうか。運動が足りないと筋肉は弱り動くのがおっくうになつて引きこもりに繋がる。刺激が少なくいと認知症になる。つまりどちらも使わなければ退化していくということ。行政も先を見越し、心と体の元気老人を増やそうと躍起である。

脳は難題を突きつけたほうが向上するらしい。集中力、学ぶ力、問題解決力、精神的な我慢強さ、創造力の深さ、学んだ事を実践する能力。これらの認知力はトレーニング(人々の交流)で向上することを町の施設をどんどん活用して証明してほしい。向上か衰退かの町民パワーが町の将来を決めるのだから。
(かねみ)

編集後記